

6	午 前
---	-----

(10 時 00 分～12 時 00 分)

問 題

- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、解答用紙に鉛筆又はシャープペンシルを使用して、左の欄に氏名を記入してください。次に、右の欄に受験票に記載されている受験番号を記入し、受験番号を塗りつぶしてください。

(例) 受験番号 1A-9999 の場合

氏 名	心 理 花 子			受 験 番 号	1	A	-	9	9	9	9
					● ②	● B		① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●	① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●	① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●	① ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

1	①	②	③	④
↓				
1	①	●	③	④

【例 2】我が国における現在の元号として、正しいものを 1 つ選べ。

① 寛永

正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。

② 元禄

③ 昭和

④ 大化

⑤ 令和

2	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

2	①	②	③	④	●
---	---	---	---	---	---

【例 3】次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを 2 つ選べ。

① 川崎市

正解は③と④であるから解答用紙の③と④をマークすればよい。

② 倉敷市

③ 仙台市

④ 高松市

⑤ 北九州市

3	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

3	①	②	●	●	⑤
---	---	---	---	---	---

- (3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●○●●●● (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。
5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問1 公認心理師が被面接者の同意を得ずに行うことで、秘密保持義務違反に該当するものを1つ選べ。

- ① 被面接者が配偶者から身体的暴力を受けているという事実を知り、警察に通報した。
- ② 面接で自殺念慮と具体的な準備を語った被面接者の家族に、切迫した危険を伝えた。
- ③ 面接した児童が親から虐待を受けている可能性があると考え、児童相談所に通告した。
- ④ 被面接者の信条に関わる問い合わせを被面接者の職場の上司から受け、面接で知り得た関連情報を伝えた。
- ⑤ 面接した高齢者が、家族によって食事也十分に与えられず、脱水を起こしかけているという事実を知り、市町村に通報した。

問2 メディアによる、自殺を思いとどまった事例に関する報道や援助資源に関する情報提供は、自殺の保護因子を強化し、結果として自殺の発生を防ぐという。この効果として、正しいものを1つ選べ。

- ① ウェルテル効果
- ② パパゲーノ効果
- ③ バンドワゴン効果
- ④ ピグマリオン効果
- ⑤ プライミング効果

問3 児童相談所において、子どもと家庭の社会診断を行う職種として、適切なものを1つ選べ。

- ① 児童委員
- ② 民生委員
- ③ 児童指導員
- ④ 児童心理司
- ⑤ 児童福祉司

問4 運動技能、知覚技能及び認知技能に関わり、想起意識を伴わない記憶として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 意味記憶
- ② 展望記憶
- ③ 偽りの記憶
- ④ 手続き記憶
- ⑤ エピソード記憶

問5 探索的因子分析において、固有値の変化がなだらかになる1つ前までの固有値の数を因子数とする基準として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① MAP 基準
- ② VSS 基準
- ③ カイザー基準
- ④ スクリー基準
- ⑤ ガットマン基準

問6 心理学実験において、実験者が設定した刺激が適切に機能しているかを確認することを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 準実験
- ② 条件づけ
- ③ メタ分析
- ④ マッチング
- ⑤ 操作チェック

問7 時間知覚について、正しいものを1つ選べ。

- ① 恐怖感情を伴う体験では、時間は短く感じられやすい。
- ② 時間の経過に注意が向けられる頻度が高いほど、時間は短く感じられやすい。
- ③ 小さな視覚刺激の呈示時間は、大きな刺激の呈示時間よりも長く感じられやすい。
- ④ 同じ時間の長さでも、その間に起こる出来事の数が多いほど、時間は短く感じられやすい。
- ⑤ 2つの刺激を続けて呈示するとき、空間距離が離れているほど、それらの間の時間は長く感じられやすい。

問8 色覚多様性の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 男性より女性に多い。
- ② 後天的に生じるものがある。
- ③ 1型、2型及び3型の3種に分けられる。
- ④ 桿体が機能不全を起こすことによって生じるものがある。
- ⑤ 色覚検査は、学校保健安全法施行規則に定める児童生徒等の健康診断における必須の検査項目である。

問9 学習の転移の具体例として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 給食の時間に流れていた音楽が聞こえると、お腹が鳴る。
- ② フランス語の授業の後に英語の授業があると、発音を間違えてしまう。
- ③ 隣家から怒鳴り声が聞こえてから、小さな物音がするだけでも気になるようになった。
- ④ 目覚めに効果的なアラーム音を設定したが、1か月後には起きられなくなってしまった。
- ⑤ 学校という場所が苦手であったが、大学生になり大学のキャンパスではリラックスできている。

問10 ポジティブ感情の説明として、適切なものを1つ選べ。

- ① 利己的な行動を促進する。
- ② ネガティブ感情の影響を緩衝しない。
- ③ 注意の幅を広め、浅く広い情報処理をもたらす。
- ④ ネガティブ感情と比べて特定の不適応と強く関連する。
- ⑤ 友人の悩みを聴く場面では、積極的に表出する必要がある。

問11 迷走神経反射によって起こる現象として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 意識の喪失
- ② 顔面の紅潮
- ③ 血圧の上昇
- ④ 脈拍の増加
- ⑤ 脳血流の増加

問12 良い出来事は自身の内的属性に、逆に悪い出来事は自身の置かれた外的状況に、原因帰属する傾向を表す概念として、適切なものを1つ選べ。

- ① ポジティブ幻想
- ② 自己奉仕バイアス
- ③ 根本的な帰属の誤り
- ④ 自己中心性バイアス
- ⑤ インパクト・バイアス

問13 知能に関する説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 結晶性知能は20歳台で最も高まる。
- ② 流動性知能は40歳台で最も高まる。
- ③ ウェクスラー式知能検査は、個人内差が評価できる。
- ④ 知能指数〈IQ〉の平均－1SDが、知的障害の目安となる。
- ⑤ 田中ビネー知能検査Vは、対象とする全ての年齢において、精神年齢〈MA〉を用いて知能指数〈IQ〉を算出する。

問14 子どもに対する鏡像認知課題を通して把握される心理的特質として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自己愛
- ② 自己意識
- ③ 自己概念
- ④ 自己評価
- ⑤ 自伝的記憶

問15 高齢期に人生の残り時間が少なくなると、自分の持つ資源を、より心理的に満足できる目標や活動に注ぎ込もうとする傾向を説明する心理学理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 持続理論
- ② 離脱理論
- ③ 社会的コンボイ理論
- ④ 社会情動的選択性理論
- ⑤ 補償を伴う選択的最適化理論

問16 幼児又は児童への司法面接について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 開かれた質問を主体にする。
- ② 面接の録画や録音は控える。
- ③ 性別や年齢の異なる複数の面接者で行う。
- ④ 1回の面接時間を短くし、面接回数を増やす。
- ⑤ 面接者が言葉を補いながら児童の話を引き出す。

問17 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉の診断用評価尺度として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ADI-R
- ② Conners 3
- ③ KABC-II
- ④ M-CHAT
- ⑤ WISC-IV

問18 一定の集団の中で、一定の時間的な枠組みとエクササイズを設け、参加者同士が率直に語り合い、感情を交流させて、相互理解や信頼関係を醸成しながら他者理解や自己理解を進め、行動変容や成長を図る集団的な取組として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① T グループ
- ② サイコドラマ
- ③ ピアサポート
- ④ セルフヘルプ・グループ
- ⑤ 構成的グループエンカウンター

問19 対象関係論に関する説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 集合的無意識との関係を分析する。
- ② 乳児期からの母子関係に注目する。
- ③ L. Binswanger によって発展の基盤が作られた。
- ④ 生物学的要因よりも社会文化的要因を重視する。
- ⑤ 重要他者との関係を時系列に沿って想起していく。

問20 E. T. Gendlin によって開発されたフォーカシングの概念で、日常生活の中で感じている複雑で曖昧ではあるが、何らかの意味を含んだ身体感覚として、適切なものを1つ選べ。

- ① サルコペニア
- ② ヒポコンドリー
- ③ フェルトセンス
- ④ アレキシサイミア
- ⑤ ソマティックマーカー

問21 強迫症が疑われる成人に用いる心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CAARS
- ② CAPS
- ③ POMS 2
- ④ SDS
- ⑤ Y-BOCS

問22 閉経の過程で血中濃度が上昇するホルモンとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① グルカゴン
- ② バソプレシン
- ③ 卵胞ホルモン
- ④ 甲状腺ホルモン
- ⑤ 卵胞刺激ホルモン

問23 D. Meichenbaum が提唱した認知行動療法であり、自己教示訓練を
主要な技法とするものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自律訓練法
- ② モデリング
- ③ 自己調整学習
- ④ 漸進的筋弛緩法
- ⑤ ストレス免疫訓練

問24 慢性期の統合失調症患者に対する心理的支援として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① エクスポージャー
- ② 標準型精神分析療法
- ③ 眼球運動による脱感作と再処理法〈EMDR〉
- ④ サイコロジカル・リカバリー・スキル〈SPR〉
- ⑤ ソーシャル・スキルズ・トレーニング〈SST〉

問25 アルコール依存症者の支援において、最初から断酒を目指すのではなく、飲酒がもたらす心身や社会生活への悪影響の緩和を目的とする方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① ゼロトレランス
- ② セルフコントロール
- ③ ハームリダクション
- ④ リスクマネジメント
- ⑤ リスクコミュニケーション

問26 N. E. Bank-Mikkelsen によるノーマライゼーションの説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 生活上のリスクを共有して負担し合うこと
- ② 社会的に立場が弱い人々への支援や制度を設けること
- ③ 多様性を全て包摂し、個々に必要な支援を保障すること
- ④ 知的障害者に全ての市民と同等の権利や機会を与えること
- ⑤ 個人の権利や自己実現が尊重され、人が身体的・精神的・社会的に良好な状態にいること

問27 子育て支援や児童虐待防止を目的に据えたポピュレーションアプローチの具体例として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 一時保護
- ② 保育所等訪問支援
- ③ 養育支援訪問事業
- ④ 子育て短期支援事業
- ⑤ 乳児家庭全戸訪問事業

問28 ある授業で、読み聞かせを中心とした教授法と、イラストを多用した教授法の学習成果を比較したところ、継次処理が優位な認知的特性を有する児童生徒は前者で、同時処理が優位な認知的特性を有する児童生徒は後者で、それぞれ学習成果が良好な傾向にあった。この現象を説明するものとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 潜在学習
- ② 分化強化
- ③ 適性処遇交互作用
- ④ Yerkes-Dodson の法則
- ⑤ アンダーマイニング効果

問29 学習者が、自分が理解している状態を把握し、それに基づいて自分の学習行動を調整する学習方略として、適切なものを1つ選べ。

- ① 精緻化方略
- ② 体制化方略
- ③ メタ認知方略
- ④ 深い処理の方略
- ⑤ 外的リソース方略

問30 「姿勢・運動」、「認知・適応」及び「言語・社会」の3つの領域から構成されている心理検査として、正しいものを1つ選べ。

- ① WPPSI-Ⅲ
- ② 新版 K 式発達検査
- ③ S-M 社会生活能力検査
- ④ ゲッドイナフ人物画検査
- ⑤ 遠城寺式乳幼児分析的発達検査

問31 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律〈医療観察法〉における医療観察制度について、正しいものを1つ選べ。

- ① 審判は、公開で行われる。
- ② 公認心理師は、精神保健審判員を務める。
- ③ 社会復帰調整官は、地方裁判所に配置される。
- ④ 対象者は、審判において弁護士を付添人に選任することができる。
- ⑤ 処遇事件に係る審判手続は、精神保健参与員の申立てにより開始される。

問32 乳化作用を有し、脂肪の分解を助ける消化液として、正しいものを1つ選べ。

- ① 唾液
- ② 胃酸
- ③ 胆汁
- ④ 膵液
- ⑤ 腸液

問33 発熱時に起こる身体の変化として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 呼吸数の減少
- ② 心拍数の減少
- ③ 基礎代謝量の低下
- ④ 消化液分泌の抑制
- ⑤ タンパク質分解の抑制

問34 B型肝炎ウイルスの感染経路として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 精液
- ② 飛沫
- ③ 飲用水
- ④ 吐しゃ物
- ⑤ エアロゾル

問35 「患者が、積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること」を意味する用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① アドヒアランス
- ② エンパワメント
- ③ コンプライアンス
- ④ セルフ・モニタリング
- ⑤ ポジティブ・アクション

問36 神経性やせ症に伴う身体の変化として、適切なものを1つ選べ。

- ① 産毛の減少
- ② 血圧の上昇
- ③ 体温の上昇
- ④ 脈拍の増加
- ⑤ 骨密度の低下

問37 高齢者において薬物による有害事象が増加する原因の説明として、適切なものを1つ選べ。

- ① 体脂肪率の低下
- ② 体水分量の増加
- ③ 薬物吸収の低下
- ④ 薬物代謝の亢進
- ⑤ 薬物排泄の減少

問38 精神病床の特徴として、適切なものを1つ選べ。

- ① 一般病院には設置されない。
- ② 一般病床に比べて、平均在院日数が長い。
- ③ 一般病床に比べて、人口当たりの病床数が多い。
- ④ 一般病床に比べて、病床当たりの医師数が多い。
- ⑤ 病床数は、私的な病院よりも公的な病院に多い。

問39 不登校児童生徒の集団生活への適応、基礎学力の補充、学校生活への復帰等を通じて、社会的な自立を支援することを主な目的とした教育委員会が設置する機関として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 通級指導教室
- ② フリースクール
- ③ 発達障害者支援センター
- ④ ひきこもり地域支援センター
- ⑤ 教育支援センター(適応指導教室)

問40 労働安全衛生法が定める、事業場の規模に応じた事業者の義務として、正しいものを1つ選べ。

- ① 衛生委員会の設置
- ② 従業員支援プログラムの導入
- ③ ハラスメント相談窓口の設置
- ④ 事業場内の心理相談体制の確立
- ⑤ 事業場外の精神科医療機関との提携

問41 共感性の性質や働きに関する説明として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 同情と同一の概念である。
- ② 認知的共感性と情動的共感性に大別される。
- ③ 他者の理解を深め、円滑な対人関係の形成の基礎となる。
- ④ 共感性の程度は、他者の情動状態に対する感受性の指標として使われる。
- ⑤ 他者の情動状態を知覚することに伴って生起する情動反応のことを指す。

問42 S. E. Finn の治療的アセスメントについて、不適切なものを1つ選べ。

- ① 標準化された心理検査を用いる。
- ② アセスメントを行う者の個性の影響を取り除く。
- ③ 心理検査の結果についてクライアントと対話する。
- ④ アセスメントのプロセス自体が心理療法とみなされる。
- ⑤ クライアントにアセスメントで何を明らかにしたいかを尋ねる。

問43 Lewy 小体型認知症の症状や特徴として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 常同行動
- ② 自律神経症状
- ③ Parkinson 症状
- ④ 視空間認知障害
- ⑤ レム睡眠行動異常

問44 児童養護施設入所児童の家庭復帰が直近に見込まれる場合に、児童相談所の対応として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 家庭復帰が見込まれる入所児童の意思を確認する。
- ② 家庭復帰する家庭の状態を具体的に直接確認する。
- ③ 家庭裁判所に児童福祉施設入所措置解除を申請する。
- ④ 要保護児童対策地域協議会と支援指針に関する協議を行う。
- ⑤ 家庭復帰計画は、必要に応じて中止や修正があることを、入所児童や保護者に事前に伝える。

問45 精神障害の労災認定において、認定の対象となる精神障害として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 気分障害
- ② 適応障害
- ③ 統合失調症
- ④ 身体表現性障害
- ⑤ アルコールや薬物による障害

問46 昇進や配置などの人的資源管理で行われる人事考課において、事業者が労働者を評価する指標として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 業績
- ② 態度
- ③ 能力
- ④ パーソナリティ
- ⑤ ストレスチェックの結果

問47 更生保護の内容として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 恩赦
- ② 保護観察
- ③ 更生緊急保護
- ④ 特別改善指導
- ⑤ 仮釈放・仮退院

問48 学校でスクールカウンセラーとして業務に当たる公認心理師の行動として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 緘黙のある児童への対応について、担任教師にコンサルテーションを行った。
- ② チーム学校の運営体制として、スクールカウンセラーが管理責任者となる体制を提案した。
- ③ 児童生徒理解・支援シートの作成への協力を依頼されたが、担任教師による作成を提案し、関与を控えた。
- ④ アウトリーチで訪問した児童宅で父親から児童が暴力を受ける場面を目撃したが、児童から強く口止めされたため、児童相談所への通告を控えた。

問49 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律に基づいた取組として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 健康経営の推進
- ② ハラスメントの防止
- ③ 円滑な職場復帰の支援
- ④ 過重労働による健康障害の防止

問50 心理的支援に関わる概念化や理論化について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 事例研究は、心理的支援の理論化には寄与しない。
- ② 心理的支援のランダム化比較試験は、理論の構築を直接の目的としている。
- ③ 心理的支援の理論は、理論化がなされた文化の文脈を考慮して適用する必要がある。
- ④ 実践的研究においては、研究者は現場において支援に直接関わる実践者である必要がある。

問51 教職員のバーンアウトを予防するために教職員自身や学校が行うべき有効な方策や環境整備として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 教職員の援助要請を促進する。
- ② 業務処理が速い教職員のペースに従わせる。
- ③ 業務時間・量が過重負担にならないようにする。
- ④ 休息や気分転換などストレス発散のセルフケアを行いやすくする。

問52 個人情報の保護に関する法律〈個人情報保護法〉について、正しいものを2つ選べ。

- ① 個人の権利利益を保護することを目的としている。
- ② 個人が特定される音声情報は、個人情報に含まれない。
- ③ 匿名加工情報とは、個人情報を加工して当該個人情報を復元することができないようにしたものをいう。
- ④ 個人情報取扱事業者は、個人データを利用する必要がなくなった後も、当該個人データを保管する義務がある。
- ⑤ 人の生命の保護のために必要がある場合でも、本人の同意を得ることができなければ個人データを第三者に提供してはならない。

問53 人間性アプローチに関係が深い人物として、正しいものを2つ選べ。

- ① A. H. Maslow
- ② A. T. Beck
- ③ C. R. Rogers
- ④ H. Kohut
- ⑤ J. Wolpe

問54 ゲシュタルト療法の特徴として、正しいものを2つ選べ。

- ① 今ここでの体験に注目させる。
- ② 個人の全体性の統合を目指す。
- ③ 人間の「意味への意思」を重視する。
- ④ M. Wertheimer によって創始された。
- ⑤ 恐怖症の治療に用いられることが多い。

問55 C. R. Cloninger が提唱した気質－性格理論の内容として、適切なものを 2つ 選べ。

- ① 気質次元の特性は、遺伝規定性が強い。
- ② 固執は、個人の行動を抑制させるパーソナリティ特性である。
- ③ 新奇性追求の特性が高い人は、衝動的な行動を起こしやすい。
- ④ 性格は、他者志向、協調及び自己超越の3次元から構成されている。
- ⑤ 損害回避の特性が高い人は、他者評価によって行動を維持しやすい。

問56 2019年(令和元年)以降、児童相談所における虐待相談対応に関連する内容として、正しいものを 2つ 選べ。

- ① 相談経路のうち、最も多いのは学校である。
- ② 被虐待者の年齢は、12歳以下が過半数である。
- ③ 主たる虐待者のうち、最も多いのは実母である。
- ④ 虐待相談対応の過半数は、児童福祉施設入所措置となる。
- ⑤ 相談内容における虐待種別のうち、最も多いのはネグレクトである。

問57 少年鑑別所で行われる業務として、正しいものを2つ選べ。

- ① 家庭裁判所から鑑別を求められた者の鑑別
- ② 保護処分として収容された少年に対する矯正教育
- ③ 児童相談所からの委託を受けた非行児童の一時保護
- ④ 地域社会における非行及び犯罪の防止に関する援助
- ⑤ 家庭裁判所から試験観察(身柄付き補導委託)の決定を受けた少年の観察

問58 労働基準法が定める、労働者に対して使用者が負う義務として、正しいものを2つ選べ。

- ① 毎週少なくとも2回の休日を与える。
- ② 解雇する場合には、少なくとも2週間前にその予告をする。
- ③ 6週間以内に出産する予定の女性による休業の申請に応じる。
- ④ 雇入れの日から4か月間継続勤務をした場合には、有給休暇を付与する。
- ⑤ 労働時間が6時間を超える場合には、少なくとも45分の休憩時間を与える。

問59 生後 11 か月の女児 A。A は 3 か月前から乳児保育所に入所している。入所当初は、登園の際の親子分離時に激しく泣いたが、1 か月前頃から徐々に減少し、はいはいで園内を活発に動き回る様子が顕著に観察されるようになってきた。一方、目新しい玩具などを見た際には、未だに警戒し、回避することも多い。しかし、現在は、担当保育者の顔を覗き込み、保育者が自分と同じ玩具などを見て、にこやかな表情を浮かべている際には、接近し手に取って、積極的に遊ぶように変化してきている。

こうした A の変化の背景に想定される心理的発達として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① 感情制御
- ② 共同注意
- ③ 社会的参照
- ④ 向社会的行動
- ⑤ アタッチメント行動

問60 25歳の女性A、会社員。仕事に集中できないことが続き、職場の相談室を訪れ、公認心理師Bが面接した。10か月前、挙式間際に婚約者から別れを切り出されて以来、過眠、手足の重さ、抑うつ気分や焦燥感、罪責感、希死念慮、意欲低下が生じた。2か月前から過眠や易疲労感、手足の重さが増悪し、些細なことで、「自分なんてだめだ」、「皆に嫌われている」と職場で泣くこともあった。Bとの面接では、「失恋のトラウマから立ち直れない、何もやる気が出ない」と訴えた。

DSM-5に基づくAの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 気分循環性障害
- ② 急性ストレス障害
- ③ うつ病／大うつ病性障害
- ④ 心的外傷後ストレス障害
- ⑤ 持続性抑うつ障害(気分変調症)

問61 24歳の女性A、会社員。仕事や日常生活に支障が出るのではないかと心配した友人に連れられて、公認心理師Bのカウンセリングルームを訪れた。Aは、「気がついたら知らない場所にて、普段着ないような派手な服を着ていて、戸惑うことがあり、ときには、大人から叱られている子どもの泣き声が聞こえてくることもある。自分の行動についての記憶がないので動揺するけど、生活にはそれほど支障はない」と言う。アルコールや他の物質乱用はない。

DSM-5に基づくAの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 統合失調症
- ② 双極Ⅰ型障害
- ③ 強迫症／強迫性障害
- ④ 境界性パーソナリティ障害
- ⑤ 解離性同一症／解離性同一性障害

問62 17歳の男子A、工業高校2年生。実習に入ってから機械の単純な操作ミスが頻回になり、発達障害を疑った担任教師の勧めで精神科を受診した。小中学校までは忘れ物が多いが、成績は中程度で大きな問題は生じていなかった。Aは、「実習に入ってから先生の説明がよく理解できずに、ミスが多くなり困っている。自分は発達障害なんですか。どうしたら卒業できるか知りたい」と切迫した表情で話した。主治医の指示により公認心理師BがWAIS-IVを施行した。検査結果はFSIQ 103、VCI 113、PRI 112、WMI 71、PSI 102であった。

BのAへの心理アセスメントのフィードバックとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 検査記録用紙をAに提示し、全ての結果を詳しく説明する。
- ② 平均を下回る指数に焦点を絞り、問題点を重点的に説明する。
- ③ 知的機能のばらつきがあり、発達障害に該当することを伝える。
- ④ 情報の聴き取りが苦手な可能性を伝え、その対処について話し合う。
- ⑤ IQは平均域であり、学校生活や実習に問題はないことを強調する。

問63 32歳の女性A。公認心理師にカウンセリングを受けている。Aは、実家に泊まったときのことを語った。夕食時、父親は機嫌良くしていたが、母親は陰うつで、口を開くと体調の不安をこぼすばかりで、Aにはうっとうしく感じられた。Aは母親からもう1日泊まるように勧められたが、仕事があると嘘を言って早朝に発った。その後、帰宅途中にある生花店で、母親の好きな花が目に残り、母親宛に花束を贈ったという。

帰宅途中にとったAの行動を説明する精神分析学の概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 現実検討
- ② 失錯行為
- ③ 自由連想
- ④ 防衛機制
- ⑤ 幼児性欲

問64 26歳の女性A、総合職。めまいのため内科クリニックを受診した。21歳のときに、Aは大学のゼミで新興感染症の危険性について学んで以来、他人との接触に対して漠然とした不安を感じるようになった。その後は、友人と一緒に遊びに行くこともほとんどなかった。22歳で就職し、優秀な営業成績を挙げていたが、25歳のときに取引先との大きなトラブルに巻き込まれ、強い不安に襲われた。それ以来、家族が病気になったらどうしよう、会社が倒産するかもしれない、など心配が尽きない。半年前から、夜眠れないことが多く、疲れが取れない。仕事に集中できず、営業でのミスも増えている。

DSM-5に基づくAの病態の理解として、適切なものを1つ選べ。

- ① 広場恐怖症
- ② パニック症／パニック障害
- ③ 分離不安症／分離不安障害
- ④ 全般不安症／全般性不安障害
- ⑤ 社交不安症／社交不安障害(社交恐怖)

問65 65歳の男性A。食道がんを疑い、自ら大学病院を受診した。Aは60歳で退職後、体調の細かい変化が気になるようになった。1年ほど前、胸やけをきっかけに、食道がんではないかと不安になり、クリニックを受診した。内視鏡検査の結果、胃食道逆流症と診断され、投薬を受けた。その後、症状は軽快したが、やはり食道がんではないか、転移していたらどうなるのか、など心配が続いている。テレビで紹介されていた遠方の病院に高額な遺伝子検査を受けに行くなどしたが、異常は見つかっていない。Aが家計を顧みずに病院通いを繰り返すため、妻との関係も悪化している。

DSM-5に基づくAの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 作為症
- ② 認知症
- ③ 変換症
- ④ 身体症状症
- ⑤ 病気不安症

問66 78歳の女性A、年金生活者。Aの知人Bより、Aが認知症かもしれないと地域包括支援センターに相談があった。Aは、定年退職後、アパートで一人暮らしをしている。3年ほど前に物忘れを自覚したAは、金銭管理をBに依頼した。それ以来、Bは振り込まれた年金から生活費をAに渡している。Bによると、Aは、1年前から次第に家事が困難となり、外出も減っている。担当者がアパートを訪問したところ、日常会話は可能だが、室内は乱雑で、入浴もほとんどしていないようであった。担当者に対しBは、Aの生活の世話までは出来ないという。

地域包括支援センターがAに対して優先して行う支援として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 医療機関の受診
- ② 生活保護の申請
- ③ 後見開始の審判の申立て
- ④ 短期入所施設への入所措置
- ⑤ 居宅介護支援事業所への紹介

問67 14歳の女子A、中学2年生。学校生活全般において無気力が目立ち、学業不振が継続している。担任教師Bが進路についてAに尋ねても、「よく分からない」と答える。Aの様子を心配したBが個別面談の時間を設定してAの話を聞いてみたところ、「私の家は生活保護を受けている。経済状況を考えると希望の進路を選べない」、「皆みたいに塾に行くことができないし、将来就きたい仕事にもどうせ就けない。だから勉強しても無駄」と話した。

AやAを取り巻く状況の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 社会的孤立
- ② 相対的剥奪
- ③ 複雑性悲嘆
- ④ 社会的スティグマ
- ⑤ リアリティ・ショック

問68 72歳の男性A、無職。2年前から住宅型有料老人ホームに入居している。半年前から隣人とトラブルを起こすなど、ホーム内でたびたび問題を起こすようになった。また、以前のAの性格からは考えられないような言動がみられるようになった。1か月ほど前から、ほぼ毎日決まったものしか食べないようになった。最近、ホーム内の掲示物を読み上げることや、相手の言葉をおうむ返しをすることが増えた。その後、提携医療機関を受診し、医師の診察や各種の検査を行った。そこで行われた神経心理検査では、近時記憶や視空間機能は正常であったが、遂行機能の障害が示唆された。

Aの状況から考えられる病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② 統合失調症
- ③ 正常圧水頭症
- ④ 前頭側頭型認知症
- ⑤ Alzheimer 型認知症

問69 ある中学校では、一部の生徒たちに、授業妨害、掲示物の破損、生徒や教師への暴言や暴力行為などが頻発している。休み時間には、そうした非行傾向のある生徒たちが校内の相談室に押しかけて騒ぎ、おとなしい生徒に対して暴言や、からかう行動をするようになっている。授業時間も教室に戻らず、相談室のスクールカウンセラー A の注意を聞き入れない。そのため、それまで相談室を利用していた生徒が近づけなくなってしまうている。

このような相談室の状況を改善するための A の対応として、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① 相談室で騒ぐ生徒たちと個別に面談し、授業妨害などの解決を図る。
- ② 管理職や教職員と話し合い、相談室利用のルールを明確化し周知する。
- ③ 相談室の内装や雰囲気などを変え、生徒が気軽に入室できないようにする。
- ④ 相談室で騒ぐ生徒たちの行動が落ち着くまで、A 単独による教育相談を中止する。
- ⑤ 相談を目的に相談室に来室した生徒は、外部の専門機関にできるだけ紹介(リファー)する。

問70 15歳の男子A、中学3年生。売却目的でゲームソフトの万引きを繰り返した件で逮捕され、少年鑑別所に収容となった。家庭裁判所の審判では保護観察の決定を受けた。その後、中学校に登校したが、同級生たちから、「鑑別所帰り」と避けられ、親や教師からは、「悪いことをしていないか」と疑われていた。保護観察となって3か月後、Aは万引きで逮捕された。

Aの再非行を説明する理論として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① A. K. Cohen の非行下位文化理論
- ② D. Matza の漂流理論
- ③ E. H. Sutherland の分化的接触理論
- ④ H. S. Becker のラベリング理論
- ⑤ T. Hirschi の社会的絆理論

問71 21歳の女性A、大学3年生。Aは、同居中の19歳の妹Bに連れられて総合病院精神科を訪れた。Aは1か月前から不眠を訴え、2週間前から部屋に閉じこもり、食事を摂らなくなった。心配したBが話を聞くと、「盗聴器が仕掛けられている。食べ物の味がおかしい」と言う。Bは嫌がるAを何とか病院に連れてきた。診察した精神保健指定医は入院治療が必要と判断し、Aに説明を行い、BもAを説得したが、Aは、「自分は病気ではない」と拒否し、激しく興奮した。両親は遠方に在住しており、この時点で連絡がつかない。

Aを入院させる場合の入院形態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 応急入院
- ② 措置入院
- ③ 任意入院
- ④ 医療保護入院
- ⑤ 緊急措置入院

問72 40歳の男性A。飲酒に関する問題について、開業している公認心理師Bのもとを訪れた。Aは、「妻が強く勧めるので仕方がなく相談に来ただけだ」と言い、仕事上のストレスからたまにアルコール飲料を飲み過ぎて失敗することがあるが、大した問題ではないと繰り返し述べた。

J. O. Prochaska らの行動変容ステージに基づいた、Bの初期対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 飲酒行動の利点について尋ねる。
- ② 飲酒行動をスモールステップで減らしていく計画を立てる。
- ③ 飲酒行動が生活に及ぼす否定的影響についての気づきを促す。
- ④ 話された内容にかかわらず、相談に来たという行為そのものを肯定する。
- ⑤ 問題の認識を回避するためにAがどのようなことをしているかに気づかせる。

問73 45歳の男性A。公認心理師Bが勤務する精神科クリニックを受診した。Aは医師Cの診察で、「職場の上司との関係が悪化し、自尊心が低下している。上司は自分の態度が気に入らないのか、ちょっとしたミスを見つけては注意をしてくる。最近では、言い返すことにも疲れ果てた。これ以上生きていても意味が無いと思い、死ぬことばかりを考えている。先日は、踏切の前でしばらくたたずんでいた」と語った。Cは、薬物療法と並行して、認知療法に基づいた支援の導入の検討をBに依頼した。

Bが認知療法に基づいた支援を導入する際に、考慮すべきこととして、不適切なものを1つ選べ。

- ① 長期的な関わりを想定する。
- ② 自殺について話し合うことは控える。
- ③ 良好な面接関係の構築を前提とする。
- ④ Aを支える周囲の人の援助を得られるように促す。
- ⑤ Cによる薬物療法と並行して、なるべく早く導入する。

問74 18歳の男性A、大学1年生。授業の内容が分からないと訴え、定期試験前に学生相談室に来室し、カウンセラーBが初回面接を行った。Aは、「課題として出されるレポートをどのように書いたらよいかも分からず、未提出の課題がいくつもある。また、一人暮らしであり、スケジュール管理ができず、遅刻なども多い。友人との交流もほとんどなく、所属する学部学科の教員にも相談していない。毎日がつらくて、夜もあまり眠れていない」と語った。Bは、Aに面接の継続を勧めた上で、抑うつ症状への対応のために、精神科医を紹介した。

現時点でBが検討すべきAへの支援内容として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 学部や学科の変更
- ② サークルや部活動への参加
- ③ 修学上の問題に合わせた対応策の調整
- ④ 就職活動のための自己分析シートの作成

問75 14歳の女子A、中学2年生。Aの保護者は、スクールカウンセラーBにAの不登校について相談に訪れた。1か月前、Aは授業中に友人Cと同じグループになったとき、Cから、「Aと同じグループは嫌だ」と皆の前で言われた。それ以来、Cに会うのがつらいと感じ、毎朝腹痛と下痢を訴えるようになり、学校をずっと休んでいる。かかりつけ医に受診したところ、過敏性腸症候群と診断され、処方された薬を服用している。

Bが次に行う対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① Aに登校するように促す。
- ② CがAに謝罪する場を設ける。
- ③ Aの保護者との面接を継続する。
- ④ Cの保護者との面接を計画する。
- ⑤ いじめの重大事態が発生していることを担任教師や管理職に報告する。

問76 15歳の女子A、中学3年生。保健室の養護教諭Bより、スクールカウンセラーCに不登校傾向のあるAへの支援の依頼があった。Bによると、Aは入学以来、友人や担任教師などとあまりコミュニケーションをとろうとしない。Aの保護者は、学校によるAの支援に協力的ではない。Aは、登校時には昼休みに保健室へ来室しBと何気ない会話をすることがある。Bは、最近Aの様子として、Bとは話しにくい内容があることに気がつき、CにもAに関わってもらいたいと考えるようになった。

Cの現時点での対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① Aの担任教師にAの最近の様子を尋ねる。
- ② 保健室でAと会い、Aと面識を得るようにする。
- ③ 保健室でAと会い、Bに何でも話すようにAに勧める。
- ④ Aの保護者にカウンセリングを受けるよう働きかける。
- ⑤ 保健室でAと会い、Aの担任教師と話をするようにAに勧める。

問77 45歳の男性A。400人の従業員を抱える通信業の支店長で、総括安全衛生管理者を兼ねている。新興感染症の感染拡大を契機に導入したテレワークが定着してきたが、直近のストレスチェックで、高ストレス者の頻度がテレワーク導入前に比べて増加していることが判明した。そのため、Aは、従業員向けにメンタルヘルス対策の研修をする必要があると考え、健康管理室の公認心理師Bに、研修の内容を相談した。

BがAに提案する研修内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① 身体活動の勧め
- ② 専門医との連携
- ③ 相談窓口の周知
- ④ 労務管理の工夫
- ⑤ 職場復帰への支援の方法

